

平成 20 年度 学校法人昭和大学 決算概要

平成 20 年度の主な事業として、創立 80 周年記念事業、日本高等教育評価機構の認証評価受審、旗の台校舎教育・研究ネットワークシステム構築、富士吉田校舎教育施設整備等を図りました。また、各附属病院の教育環境整備として、医療用機器備品の更新、大学病院 NICU 改修、烏山病院 MRI 室改修工事、港北寮の改修工事等を実施しました。決算の概要は次のとおりです。

1 . 貸借対照表について

平成 21 年 3 月 31 日現在の財産状況を示します。固定資産(土地・建物・機器備品・特定預金他)と流動資産(現金預金・未収入金他)の資産の部合計は 1,741 億 1,000 万円で、前年度末と比べて 10 億 2,000 万円の増です。主な要因は、土地が 15 億 8,000 万円の増、退職給与引当特定資産が 2 億円の増、富士吉田校舎教育施設整備引当特定資産が 10 億円の増、施設設備充実引当特定資産が 2 億 7,000 万円の増となっています。また、既存の建物・機器備品等の減価償却額 72 億 7,000 万円が前年度簿価より減少しています。一方、固定負債(長期借入金・学校債他)と流動負債(次年度借入金返済金・未払金他)の負債の部合計は 515 億 1,000 万円で、前年度末と比べて 4 億 9,000 万円減少しました。主な要因は、借入金の返済 16 億 2,000 万円、学校債の返済 2 億 6,000 万円によるものです。

資産の部合計から負債の部合計を差し引いた「正味財産」は 1,226 億円で、前年度より 15 億 2,000 万円増加しました。

2 . 消費収支について

消費収入の部合計は 780 億円で、基本金組入額 75 億 3,000 万円を除く帰属収入合計は 855 億 3,000 万円となります。予算と比べて学生生徒納

付金、寄附金、補助金等は増となっていますが、医療収入、資産運用収入は減となっています。全体として 7 億 4,000 万円予算に達成していません。一方、消費支出は 840 億 1,000 万円で、予算と比べて、人件費が 5 億円減、教育研究経費が 6 億円減、管理経費が 10 億 6,000 万円減、新たに有価証券の評価損 5 億 6,000 万円が計上されましたが、支出全体で 15 億 1,000 万円予算より減となります。また、帰属収支差額では、15 億 2,000 万円の収入超過となりましたが、前年度の帰属収支差額と比較しますと、前年度は 26 億 8,000 万円の収入超過でしたので、11 億 6,000 万円の減益となります。結果的に消費収入から消費支出を引いた消費収支差額は、60 億円の支出超過となります。

3 . 資金収支について

資金収支は、法人の諸活動に対応する全ての収入支出の内容を示します。当年度の資金収入は 870 億 5,000 万円、資金支出は 856 億 6,000 万円で、当年度資金収支差額は 13 億 9,000 万円の収入超過でした。収入においては、予算と比べて、学納金は 5 億円の増、寄附金は 1 億 5,000 万円の増、補助金は 1 億 3,000 万円の増となりましたが、医療収入は 17 億円予算に達成していません。また資産売却収入の予算は計上していませんが、当年度は 6 億円の収入がありました。支出は、消費支出の経費のほか、冒頭の設備整備計画に係る支出及び特定資産への積み立ての支出があります。